

IUHW 29号

The gazette of International University of Health and Welfare



特集

高円宮憲仁親王殿下来訪

日本失語症学会開催

第4回 風花祭

後輩へ送る

実習体験記



発行：学校法人国際医療福祉大学
 編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線8116
 ホームページアドレス <http://www.iuhw.ac.jp>

高円宮憲仁親王殿下来訪

言語聴覚センターにて



11月6日、高円宮憲仁親王殿下が
 本学のご視察に訪れました。
 理事長、学長、大田原市長等が玄関
 でお迎えし、理事長室で理事長から
 大学の概要をご説明申し上げた後、
 学内をご案内いたしました。始めに
 J棟1階スタジオでは杉原先生が遠
 隔りハビリテーション医療教育シス
 テムの概要を説明し、殿下からアメ
 リカでの衛星通信技術についてのお
 話がありました。次にC棟1階放射
 線・情報科学科実習室では野原先生
 のCT・MRI等本学の最新医療機器の説
 明に熱心にご質問された。本学内クリニック2階言語聴覚センター
 で笹沼先生が東洋一の設備を誇る
 当センターの説明を致しました。
 殿下は、各先生方の説明を熱心
 にお聞きに
 なられ、ご
 質問も多く
 され終始に
 こやかにご
 見学されま
 した。

理事長と一緒に



理事長室にて



第23回日本失語症学会開催

本学の保健医療学専攻主任笹沼澄子先生が学会長を務められました。

栃木県総合文化センター



11月4～5日の2日間、第23
 回日本失語症学会総会（会長：
 笹沼澄子）が宇都宮市で開催さ
 れました。全国から600余名の会
 員（医師、ST、脳科学者、認知
 科学者など、学際色豊か）が参
 集し、失語症をめぐる諸問題に
 関する最新の研究成果に耳を傾
 け、熱い討論を展開しました。
 学会の歴史上初めてSTが総会
 会長を担当したこともあって、
 失語症臨床をメインテーマに据
 えた企画プログラム（英国の
 Dr. K. E. Patterson による特

別講演、会長講演、シンポジウム
 2題、教育セミナー3題、文化講
 演など）が生まれ、一般演題約120
 題と合わせて内容の濃い学術講演
 会となりました。学内外の皆々様
 の暖かい御支援の賜と深く感謝申
 上げます。また、学会前日の役
 員懇親会には大谷学長がご臨席く
 ださいまして力強いお励ましのお
 ことばを賜りました。主催者一同
 に代わり厚く御礼申し上げます。
 （笹沼澄子）



ゲストへの感謝状を贈る笹沼先生

Ms. KOYENGO (KMTC 臨床医学部学部長) 本学の感想

今回は11月1日(月)に来日され、翌2日(火)から11日(木)本学で研修していらっしゃるコエンゴさんに、国際部五十嵐がお話を伺いました。

五十嵐 : 研修のスケジュールはどうなっていましたか？

コエンゴ : 11月11日まで本学で研修しました。

最初の一週間は主に各学科でのレクチャー形式の研修で、後半は各センターでの研修や、関連施設への見学を行いました。その後12日に東京の山王病院、国際医療福祉総合研究所を見学しました。



五十嵐 : 研修の印象をお聞かせください。

コエンゴ : 各学科100人近くもの学生がいるということや、必要な機材が完備されていること、そしてスタッフのチームワークの良さ、なにより大学の清掃が行き届いていて学びやすい環境であることなど、とにかくいろいろなことに驚きました。

五十嵐 : 日本での生活は寂しくありませんでしたか？

コエンゴ : 少し寂しくなることもありましたが、でも大学の教職員の方に暖かく迎えていただき、ここでの生活もすくなくなくなることができました。

五十嵐 :
ありがとうございました。



紀伊國学部長

日本医師会最高優功賞受賞



紀伊國 献三先生

11月1日、本学医療福祉学部学部長兼医療経営管理学科長の紀伊國献三教授が、日本医師会より日本医師会最高優功賞を授与されました。この賞は日本の医療に尽くしてこられた方々の功績をたたえるもので、今回の受賞も医療界における先生のこれまでのご尽力が評価され与えられることになった大変名誉ある賞です。本学教職員一同お慶び申し上げます。

また、今回の受賞につきましては、本学とは実習等で大変お世話になっている自治医科大学の高久史磨学長も受賞されていることを併せてご報告致します。

同窓会入会方法

本会は、卒業生相互の親睦を図ると共に、医療福祉の向上に努め母校の発展に寄与する事業を目指しております。まだ入会されていない卒業生の皆様にはぜひ、ご入会いただきますよう、よろしく願いいたします。

入会方法は専用の振込依頼書にてご入金ください。振込依頼書がお手元にない方は、同窓会事務局までご連絡ください。至急、ご送付いたします。

また、このほかのご質問等ございましたら、同様にご連絡ください。

同窓会事務局

〒324-8501 栃木県大田原市北金丸2600-1
(国際医療福祉大学)
TEL 0287-24-3003 FAX 0287-24-3100
e-mail mmm-doso@iuhw.ac.jp

国際医療福祉大学同窓会「マロニ工会」

第1回総会開催

去る10月23日、風花祭にあわせて、第1回総会を開催いたしました。議題に関しては、同窓会本年度予算、事業計画を中心としてすすめられました。出席者は仕事が忙しかったためか、代議員、会員ともに少数ではありましたが、ご多忙の中、ご出席くださった会員の方々から、同窓会運営に対して活発な意見が出され、充実した会となりました。この総会開催から本格的に同窓会が活動していけることを考えています。さしあたり、来る12月4日(土)には大学体育館前で卒業記念植樹式を行います。会員の皆様には、お気軽にご参加いただき、お互いの近況を話しあい交流をはかれる場になればと思います。パーティーが盛大なものなることを願っています。

(同窓会会長 吐師秀典)

お知らせ

第2回社会人入試および第2回大学院入試のお知らせ

第2回社会人入試および第2回大学院入試が、来る平成12年1月15日(土)に実施されます。みなさんの周りで医療福祉分野に進みたいという方がおられましたら、是非受験をお勧め下さい。試験に先立つ出願期間は平成11年12月20日(月)～平成12年1月6日(木)まで郵送で受け付けます。試験科目、出願資格、その他詳細はお気軽に入試事務室までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先
電話 0287-24-3200、FAX0287-24-3199

学生課

学生・保護者の皆様にお願います。住所・電話番号などの変更は必ずご連絡ください。

学生課は通常学生の皆さんへの福利厚生を仕事としています。その中で皆さんにご連絡する際に、電話番号等の変更が報告されていないため連絡に大変苦労することがあります。直接ご連絡する場合は緊急度の高い場合が多いので、保護者および学生の皆様の現住所、電話番号、携帯電話番号等の変更があった場合には、電話ではなく、必ず学生課カウンスターへ付けの所定用紙で報告してください。非常時に備え、保護者の皆様、学生の皆さんのご協力をお願いいたします。

総務課

イブニングタイム公開講座「ライフステージにおけるこころの健康」の開演

平成11年度の上記イブニングタイム公開講座は11月4日(木)から、12月16日(木)までの計7回、毎週木曜日に開講しています。今年度は講座の企画は、保健学部作業療法学科が担当しました。主題を「こころの健康」とし、ライフステージごとに遭遇するさまざまな課題と、それらに対処する際の個人の心理社会的なできごとを目標として、講師は学内のそのみに優れた教員の方々にお願い致しました。2回目を終えた現在、約130名の地域住民の方々の参加をいただいています。本講座を通して、人が生きていくことの難しさ、その難しさを乗り越えるための支えとなるこころの健康のありよう、精神衛生のありようについて少しでも多くの情報を得ていただければ幸いです。忙しく過ぎていく毎日の生活の中で、私たちはあまりにもこころの健康を蔑ろにしているように思えてなりません。精神衛生に関わる知識が少しでもあることで、個人にふりかかる心理社会的なできごとをあまり大きくくしないようにできるのではないかと思います。各回ごとに受け付けていますので是非、ご参加下さい。(写真)



講演中の小田 晋先生

北京で日中合同プロジェクト会議開かれる 通信衛星を介したりハビリテーション医療教育プロジェクト

本プロジェクトでは、平成11年10月13日(水)に中国側からの第1回目の教育プログラム「鍼灸による片麻痺治療」(許 建鵬氏企画・出演)を受信しました。受講場所を管理棟1階に設置し、研究フェロー、教員、学生は理学療法学科の学生を中心とした約50名が受講生となりました。許 建鵬医師による講義は、全プログラムを通して日本語で行われ、受講者は驚嘆しました。内容は鍼灸による片麻痺治療であり、中国医学そのものに受講者は興味を持ったようでした。中国からの2科目の教育プログラムの受信は12月中旬です。時間及び場所は、改めてお知らせ致しますので、関心のある方は是非受講者に加わって下さるようお願い致します。

さて、第1回目の中国からの教育プログラムを受講した後、11月18日(月)に、中国北京市において、学内の研究プロジェクトメンバーと中国側の研究メンバーによる会議が北京市の中国リハビリテーション研究センターで開催されました。(写真参照) 本学からは高木理事長、初山大学院院長、杉原プロジェクトリーダー、井原サブリーダー、城間、谷口、濱口ら3人の研究フェロー、那須リサーチセンター研究員の田辺氏、国際部の陳氏(通訳)が北京市に出向き、会議に出席しました。中国側は湯 主任、崔リーダーら10名の研究フェローが出席しました。会議の主な議題は、今後の研究プロジェクトの進め方、双方の教育対象の再確認、講義評価手段としての双方の受講者アンケートの修正、日本側からの追加送信プログラムについてであり、終始積極的かつ建設的な意見交換がなされました。また、中国からの第1回目に送信された教育内容の反省会も翌日の19日に行われ、より効果的な教育内容の作成に向けて、具体的な検討を行いました。



日中の研究メンバーによる会議

本プロジェクトの進行に伴い、第一義的な研究開発の成果はもちろんですが、双方の研究関係者による両国間の往来を通して、日本と中国との医療技術交流や文化交流の成果も実感できるようになりました。

(プロジェクトリーダー 杉原素子)



第1回目の中国からの中継

部会・委員会報告

教務委員会

千保大田原市長、「総合講義」で講話

総合教育科目の「総合講義」では、21世紀の那須地区についての講義をいろいろな専門領域からの講師を招いて講義をお願いしていますが、10月27日(水)は大田原市の千保一夫市長に「地域社会における政治の役割」と題して講義を担当していただきました。那須地域の歴史、那須地域の水の問題、首都圏移転の問題、オウム真理教信者居住の問題、国際医療福祉大学が開設されてからの大田原市の経済効果等、興味深い話題を精力的に話していただきました。(写真)と、本授業の聴講学生の私語の多いのは、毎回驚いています。静かに聴講しては、大変な迷惑となつています。何故か、授業中に私語をするのでしようか。どうして90分間静かにしてられないのでしょうか。一部の学生の自己中心的な聴講態度の一日も早い改善を願っています。(杉原素子)



千保大田原市長

国際交流委員会

1. '99 国際ボランティア・研修活動
・10月4日、参加学生、引率教員、委員が集まり、帰国報告会・反省会、来年への提言の会をしました。
・10月23・24日の「風花祭」に参加、E403・404 教室で活動内容についての説明、写真や物品の展示を行い、充実した発表が好評でした。
2. 10月18日、第2回留学生懇親会を開催し、ホストファミリー、関係教職員と和やかな時を過ごしました。
3. カンボジア農村での地域医療についての講演会
10月28日、6～8時、レセプションホールにて、NGO グループ SHARE から派遣されて活躍中の功能聡子さんとカンボジア人スタッフ シェン・ペウさんから、現状、諸問題についてスライドをまじえての話を聞き、参加した約50人の学生、教員は多くの事を学ぶ機会を得ました。(田中美子)

ボランティア委員会

10/19開催のボランティア委員会、大学から要請のあったボランティア募集などの情報交換が行われました。主なものは以下のとおりです。

- ・西那須野西小学校特殊学級のボランティア
- ・大田原市ウオーケラリボランティア
- ・黒磯市内小学校5年生の不登校児童のボランティア
- ・黒磯市福祉作業所「心の里」ボランティア
- ・佐野情報短期大学からボランティアサークルの交流の申し入れがあり、自主的に交流するよう連絡をとります。また、医療福祉学科2年女子が台湾地震の救援ボランティアに一週間参加してきた報告がありました。

委員会としては、12年春にオープンする重症心身障害児施設内に設置予定のボランティアセンターの運営について企画検討をはじめました。(鈴木五郎)

就職委員会

求人ほぼ前年同期並に

11/15日就職委員会を開催、就職活動の意見交換を行いました。

10/31現在、大学に寄せられた求人数は2,122件、13,662名。前月比較228件、687名の増加となっています。内訳では、看護がもっとも多く8,788名、理学1,376名、作業1,109名、言語107名、放射線265名。

10/29日現在の保健学部5学科の就職内定・進路決定者は68名(うち6名は大学院進学)で、卒業見込みの者556名の12%にあたります。

公務員試験受験者のなかでは、東京都や栃木県の一次試験合格者がでており、8月に実施した公務員試験受験対策講座が非常に役にたったという評価がよせられています。

(鈴木五郎)

国際部

JICA / ケニア医療訓練カレッジ・プロジェクト

Mr Paul Tuukuo (副学長) の研修は10月22日に終了、23日風花祭を enjoy した後、東京へ移動されました。

引き続き、11月1日から Ms Gladys Koyengo (臨床医学部長、12日まで) および Mr Joshua Sang (環境保健部教官、5日まで) の研修を実施しました。

WHO 情報通信インフラ支援部・情報専門官、赤澤俊一氏の来学

11月22日に来学、視察されました。赤澤氏の父君は、WHO 糖尿病研究協力センター名誉所長で、大谷学長と京都大学医学部で同級生でした。(長谷川豊)

紀要委員会

紀要委員会は月1回の割合で開催しておりますが、第6回の委員会を9月21日(火)、第7回を10月19日(火)に開催しました。現在、第4巻の編集作業中で、最も重要な論文審査の段階に入っております。論文査読の先生方にはご多忙の中を本当に丁寧に精査して頂いておりまして、深く感謝いたします。先月、紀要第5巻について投稿希望の調査を行いましたところ多数の応募がありました。著者は概ね執筆時間の不足に悩まされていますが、十分な推敲の時間をとれるよう、脱稿までに始めて頂きたいと思っております。(野原功全)

情報化委員会

国際医療福祉大学とその関連施設を結ぶWANのインフラ整備を実施しており、現在のところ「SL教室パソコンの更新及び新規採用教職員へのパソコン購入 関連施設のLAN及びパソコンの整備 宇都宮大学への専用回線の容量アップ(128Kbps 1Mbps) メールダイヤルアップ利用のためのISDN(INS1500)回線契約 サーバの更新」が、ほぼ完了しています。これに伴い、メールソフトをLotus notesからMicrosoft社のOutlook Expressに変更しました。学生へのインターネット利用は、当初10月からと案内をしておりましたが、インフラの整備に大幅な遅れがあり、迷惑をかけています。今現在、ハードの整備は終了し、利用できる状態にあります。利用規則(規定)が必要であり、その策定を急いでいます。利用規則の大学承認をへて学生利用オープンとなりますので、開始予定は平成12年の初旬(冬休み後)としております。また、教員への外部からのメール利用(ダイヤルアップ機能利用)は、ハードが今月中旬に整備されますので、12月初旬を予定しています。(樺澤一之)

広報委員会

- * 委員会開催 : 第4回 委員会 9月27日 13:05 ~ 14:00
第5回 委員会 11月8日 13:05 ~ 14:00
- * 今年度から情報メディア部メディア室(石田 宏、山崎清彦、桑原 崇)が委員会に加わり、27号からデジタル加工で編集されています。時間的にも余裕が出来、レイアウトも色々変化をつけられるようになりました。
- * 29号からフロッピーディスクでの原稿を受け付けています。
- * 29号は、構成を多様化するために トライアルとして右開きになります。
- * IUHW のバックナンバーは本学のホームページで流しています。(宮尾洋子)

STEP UP!!



今年も昨年と同様晴天に恵まれた文化祭、我がESSは例年通り模擬店として参加しましたが、「ESSをもっとアピールしよう」というメンバーの意見から、初の試みとして英語劇をステージ場で上演することになりました。留学経験や演劇経験のない彼らが連日深夜のもう特訓！そのかいあって見事大成功を収めました。模擬店の方も、メンバー数のほとんどが劇に集中してしまい、小人数で四苦八苦しましたが、彼らの頑張りやが劇成功の大きな支えになったと思います。ESSが確かにSTEP UPしたと実感した文化祭でした。

(E.S.S. 経営2年 川原泰弘)

ASTERISK

我が天文学サークルASTERISKは、学祭でうどんを売りました。一杯100円ということもあってか、2日間とも売り切れと相成りました。みなさんの御協力、本当にありがとうございました。おかげで、サークル内での物品支給をせずに済みました。さて、ASTE .のみなさん、お疲れ様でした。それぞれ色々あったことだと思いますが、結果としては、大成功だったのではないのでしょうか。たくさんの人が集まって「ひとつのこと」を成し遂げるのは相当なことでしたね。本当にお疲れさまでした。

さて、寒くなりますがうちらはそうも言ってはいただけません。冬の星座を観るために、鼻すすって頑張りましょう。

(天文学部 作業1年 木下良一)



音暖全旋



「音を奏でること即ち歓びに他ならん」

どこまでも澄んだ青い空、輝ける太陽、一筋の飛行機雲...そんな素晴らしい天候のもと、舞台上で演奏できるという幸運。これが張り切らずにいられようか(いやいられない)。体中の全ての細胞から放出されし魂の歌声は、遠く駐車場の端にまで聞こえてきたとか。またそれは人の心にも届き、ある人は涙したまたある人は拍手を惜しむことなし。

音楽は人に与えられし能力。それは時に人を和ませることあり。1人でも多くの人が和む音楽、これぞ我ら音暖全旋の目標なり。

(看護2年 植木佳史)

大感動？ 風花祭 花火に泣いた！ライブに泣いた！風に泣いた？



10月23日、24日に第4回国際医療福祉大学風花祭が開催されました。強風が吹くというハプニングもありましたが、両日も晴天に恵まれ、大きなスケジュール変更もなく模擬店、ステージ発表、芸能人ライブなど大きな盛り上がりを見せました。実行委員会としては約半年前から活動し、準備を頑張ってきました。当日は半年間の集大成として感動も大きく、後夜祭の花火のときには思わず涙が出る程の達成感を味わいました。来年もまた、みんなで今年以上に素晴らしい学祭が出来るように頑張りよう！



(第4回風花祭実行委員長 福祉2年 木暮統義)

お茶会大盛況！！



茶道サークルは昨年の12月にできたばかりのサークルです。道具もない、お金もない、ないないづくしの状態でお茶の飲み方から始まった茶道サークル。みんなの熱心さと日々のお稽古の積み重ね、そして道具を貸して下さった方々のおかげで、風花祭でお茶会を開く事ができました。2日合わせて250名もの方に来ていただくことができ、部員一同大満足しています。これからもさらにお稽古に励んでいこうと思います。茶道に興味のある方、抹茶を飲んでみたい方、毎週 月・火 授業の後、生活技術室に是非遊びに来てください。

(茶道部 作業2年 前田公子)

24のハーモニー

これ迄部員が少なく小規模編成でしたが、今年は大勢の1年生が入部し、管楽器パートも誕生。総勢24名のよりオーケストラらしい深みのあるハーモニーで、アイネ・クライネ・ナハトムジーク他7曲を演奏し、観客の皆様から沢山の拍手を戴くことが出来ました。

今後は、部員全員で造り上げた音楽を、病院や施設の方々にお聴き戴ければと考え、計画を進めています。音楽を聴くのが大好きなあなた、今度は私達と一緒にあなた自身の音楽を奏でてみませんか？

(交響楽部 言語3年 細野里美)



BESTな学祭

何も無い所から始めた昨年の学祭。そして今年はそれぞれの胸の中で生きていた想いや新たな試みを織り交ぜて新しい喫茶店を開くことが出来ました。落ち着いた雰囲気と普段はちょっと耳慣れないゴスペルと手作りチズケ・キ&クッキー(隠し味は愛!)を販売していた喫茶LOGOSは皆さんの心に残っていますか?学祭を終えてホッとひと安心...そして心に残ったのは、サ・クルBESTを支えて下さったたくさんの方(御客様はもちろん)への溢れんばかりの感謝です。

(BEST 看護2年 矢中玲子)



風花祭であじさいのフリーマーケット



今年の学祭にはみんなで参加して、みんなで楽しもうということで、部員皆で持ちよった品物でフリーマーケットを行いました。他にも先生方やひよこの会に提供して頂いた品物やあじさいが継続して訪問している太陽の里の方と一緒に縫った雑巾・部員手作りのお菓子なども売りました。太陽の里の方とは23日には学祭をいっしょに見てまわりました。また、手作り鉢のコーナーもあり、そこで24日にひよこの会の子も達と鉢にペンキなどで色付けもしました。当日は様々な人と一緒にあじさいらしく学祭を楽しめたと思います。

(社会福祉研究部 "あじさい" 言語2年 久保田純子)

今年度の学祭にはみんなで参加して、みんなで楽しもうということで、部員皆で持ちよった品物でフリーマーケットを行いました。他にも先生方やひよこの会に提供して頂いた品物やあじさいが継続して訪問している太陽の里の方と一緒に縫った雑巾・部員手作りのお菓子なども売りました。太陽の里の方とは23日には学祭をいっしょに見てまわりました。また、手作り鉢のコーナーもあり、そこで24日にひよこの会の子も達と鉢にペンキなどで色付けもしました。当日は様々な人と一緒にあじさいらしく学祭を楽しめたと思います。



仲が良いだけがとりえじゃない!! やる時はやるヨ 人形劇サークルCHAP(部員募集中)

私達人形劇サークルは、今年で4回目の大学祭参加になりました。サークルの存在も段々と知られてきたおかげで、学園祭に来た子供たちをはじめ市内の幼稚園の先生や学生など沢山の人の足を運んでいただき、毎回盛り上がった公演となりました。今年はサークルで代が交わり、メンバーも一転しているいろいろ大変なこともありましたが、技術の高いきれいな人形劇より、子供達と一緒により楽しい時を過ごすための人形劇を目指してがんばって来ました。去年より今年、今年より来年とこれからもCHAPは努力していくと思います!?

(人形劇サークルCHAP 作業2年 前田芽美)



実習体験記

おしらせ

広報誌をもつと学生さんに親しんでもらおうと今回から広報委員会では、国際医療福祉大学の特色の一つである臨床実習を「実習体験記」として企画してみました。

学生さんの広い意見をお聞きすることを考えておりますので、4年生で伝えたいことがある学生さんは、「棟1階情報メディア室までお越しください。」

看護学科



うまくコミュニケーションのとれない患者さんがいて先生に相談したときに先生が「自分がつらいときには患者さんをもつとつらいんだから」といつてくれて、はっとして自分が患者さんのサインを見逃していたことに気がつきました。その先生の言葉は今では実生活でも考えられるようになりました。実習することは実際に患者さんとふれあうことで、真剣に患者さんがどうなったら良くなるか、その人のために自分は何ができるのかを考えて過ごすことが重要だと思います。

和田淳一

友達が増えたことがとても良かったです。いっしょの戦場で戦った戦友ができたような感じで一生の友達ができました。自分が限界で人に当たってしまったことで、自分の弱さが表にでてしまったことが嫌なことでした。看護してる上で自己満足に陥ってしまった「患者さんに看護してあげた」と思ってたしまつたが、今回の実習で「患者さんが満足してくれたんだらうか」ということを考えることができた。自分の尺度で測らないで患者さんの立場に立つて臨床を考えてみてください。



社会人なので専門性をより深く実習をしてきて、「生と死」というものを考えることをテーマにターミナルケアとか出産にかかわる実習をしてきて、一番学んだことは生死感がひろがったなということ。自分自身がいろいろな人に出会ったことによつて看護感が広がったなと思います。自分がどういう目的を持ってどこに行くかということを自分でコンタクトをとらなければならなかったことが大変でした。チームワークのなかの一人で働いていることを感じて実習に臨んでください。

植木孝子



スタッフの多い病院だったので理想像というか目標になる人が見つけやすかったです。ということですが、スタッフとリハ室の雰囲気威圧されていつも自分が出せなかったということ。いつもだったらおしゃべりして「馬鹿万歳」という具合なんですけど、時間がたつにつれて自分が出せるようになった。苦労がありながらも楽しもうという姿勢で臨んだことが結果的にもしるい実習に結びついた。

田尻后子

理学療法学科



1期目は何をやっていいの分からないところがあつて困りました。でも、2期目ではフィードバックがたくさんあり最終段階になって評価の組立方がわかつてよかったです。1期目は通勤時間が1時間半かかり、往復で3時間かかってしまつたこと、家で帰つてきてレポートをできる時間が少ないので苦労しました。スパーバイザーが何を求めているかが分からないと何をやっていいのかわからない実習になつてしまつたのでバイザーとのコミュニケーションを苦労してはかりました。

太田麻子



今回の実習はワープロが不可欠なところで手書きだったのでレポートを書きまくったことが肉体的に疲れました。前に

行った人のレポートをもらつていった方が先生方が何を求めているかが分かるので前に行った人のレポートはできればもらつていった方がいいですね。バイザーは学校の先生ではないのでコミュニケーションをうまくはかることが重要ですね。

杉田ひとみ



評価をみっちり仕込まれる病院だったので評価について自信がつかしました。実習先の先生が他の学校の授業を見につれていつてもらつたことなどもあり勉強になりました。実習中に指を骨折してしまい、遠い実習地ということもあつて大変でした。バイザーを交えたスポーツなどのレクリエーションなどではあまりはしゃぎすぎないように気をつけてください。その他リハ部などで行われる飲み会なども次の日のレポートを考えて程々にしましょう。

島本隆司



作業療法学科



患者さんと触れあえるという所、何よりも出会いがよかったですね。どうしても学校の勉強と違い現場じゃなければわからないことがあります。実習は大変だけれど終わってみて整理できればいい経験になると思う。基礎的なことを勉強して、後はぶっつけ本番でそのときの状況に合わせてやっただ方がいいと思う。

後はレポートが手書きだと一回失敗したものを全部書き直さなければならぬのでワープロ・パソコンでレポートをやっておいた方がいいですね。 **山口晋己**



患者さんとの距離の取り方、どこまで入り込んでいいのか、実習の最初の頃はいろいろ考えました。レポートとかは大変だけれど、いい患者さんとか病院の人と会えて自分の適性がたまに見えてくるようなところもあって、うぬぼれかもしれないけれどそういう面がみれてよかったです。参考になる資料や文献は4年生になって一気に買うと大変なので2年3年のうちから必要なものをこつこつそろえた方がいいですね。

依田 学



生活の面でレポートがたくさんでて時間が不規則になって体調を崩してしまっただけで、自分で直すしかない。

く誰にも頼れなかったので大変でした。実習中は大変だけれど実習が終われば自信とこんなことをやりたいという方向が決まってくるので実際に体験してみても改めてわかったことがありよかったです。いろいろな情報を手に入ると思うのがあまり偏らず自分の考えで見つけだして自信をつけてやってみてください。 **磯野美奈子**

言語聴覚障害学科

授業で習ったことがどれだけ身に付いているかをみられるのでよかった。



困ったことは一人ですべてをやっているで自分自身が何がわかって何がわかってないかを特定できなかつたところ。最低限授業でやったことは覚えておくことです。わからなかつたことはその時に聞いて解決しておいた方がいいです。実習先で指導者の方にあまり質問がないと指摘があり、目的意識を高める意味で実習半ばぐらいから質問を考えていったので、何がわからないのかがわかるようになってきたのでよかったです。今日はここを見ようとポイントを決めて実習に臨んだ方がいいですね。 **鈴木孝幸**



実習先が子供病院だったので毎日子供と遊べたことです。高音障害の子供と話すときに最初何をいつてるのかわからない時に『ぼくにな

いったかわかった?』と聞かれて言葉に詰まってしまう、コミュニケーションを勉強しているのに大事なところを見落としてたなと思いい、子供に大事なことを教えてもらったなあと思いました。それは是非先生とのいい関係を築いてください。 **高松佳加**



学外に行つて臨床がこれほどおもしろいことだということを知つてよかったです。勉強したことと実際

臨床で見たことが直に結びつかないとかこの症状がでたときにこれだとか、整理がつかなかつた。STはコミュニケーションが大切で60、70のお年寄りから見れば若い娘さんと見られがちだけれど、若いけれどこの人に自分を任せて大丈夫だと思われようなコミュニケーションの取り方を心がけないといけないと思えました。 **大金さや香**

放射線・情報科学科



医療従事者として患者さんをみれて今までみれなかつたことがみれて勉強になった。実際チーム医療の現場を見て、放射

線技師の立場を考えるいい機会になった。実習が9週間連続で1回だったので、できれば2年間で分けて実習にいた方がいいいろいろ比較すること、よく深い理解ができるのではないかな

と思いましたが。実習の期間のあり方ももつと考えてほしいです。患者さんへの対応の仕方でもちよつとした言葉のかけ方や態度、接し方など細かい事を注意してがんばってください。 **斉藤舞子**



生きた患者さんと触れあえることが実習の良さなのでそれを見に行ってください。もしできれば自分の実家の近くの病院を見学にいって見てくるのもいいかもしれないですね。

病院では素早い対応が求められます。そのため最初は沈みがちになりますが、そういうものだと割り切つて、はやく臨床現場での知識の使い方を学んだ方がいいと思います。 **坂野拓也**



患者さんと接することが頭で理解しているつもりでも実際やってみると難しく感じることです。実習では患者

さんと接することに重点を置いて臨んだ方がいいです。実習では疑問やわからないことを積極的に聞いてみるのが一番いいと思います。解剖学の基礎的なことを勉強しておいた方が、実際写真を見る機会が多いので臓器や血管の名前などがでてくると思うので、いいと思います。

細谷郁恵

学科・センターだより

看護学科

看護職の期待に添う公開学習会開催

「社会に開かれた大学」の基本理念に基づき、地域社会と一体になり、恒例の公開学習会を5回シリーズで10月から11月に亘り開催しました。県下約200の施設に呼びかけ看護職の方達、本学学生達が多勢参加されました。そこで今年のテーマの1つは「介護保険と看護」であり、介護保険導入に伴い何がどう変わるかと、ケアマネージャーの領域です。更に「リエゾン精神看護」、「臓器移植とコデーネターの役割」など盛り沢山の内容で自然に熱が入りました。(斎藤恵子)

理学療法学科

実習、大学祭、そして国家試験対策

ますます朝晩の寒さが厳しくなり、秋が深まって参りました。先日は天候にも恵まれ、大学祭で気分一新できたかと思えます。理学療法学科では、3年生及び4年生の実習が終了し、次年度の実習依頼を模索しております。どの学生にも胸を張って卒業させようと努力しております。この大学祭が終わると、いよいよ国家試験対策となります。十分すぎるほどの模試(?)を用意する予定です。そして、今年も教員一丸となって全員合格を目指して参ります。(金子純一郎)

作業療法学科

臨床実習(総合実習)開始!!

朝夕の冷え込みが本格的になってきました。4年生がいよいよ最後の臨床実習である「総合実習」を開始しています。6週間に及ぶこともあり、健康管理を含め、サード提供者としての基本的資質・技能を身に

につけて帰ってくることを楽しみにしています。頑張ってください。

3年生以下の学生の皆さん、4年の総合実習であたふたせぬよう今からしっかりと、基礎知識・技術を習得すべく頑張ってください。(久保田清子)

言語聴覚障害学科

日本失語症学会への参加経験

11月4・5日、日本失語症学会が開催されました。学会会長は笹沼澄子先生とあって本学科から百数十名を数える学生たちが参加され、かいがいしく会場内を立ち回っておりました。学際的な場に触れることで、進取の気性に富んだ彼らの知的好奇心は大いに刺激を受け、これが成長の発条となることでしょう。また、卒業生の姿も多数みられました。かつてバイエルをたどったいた彼らの瞳は、まばゆく感じられました。いったんSTに向かっ成りしてゆこうとするそれぞれの思いが秘められているかのようです。(西尾正輝)

放射線・情報科学科

高円宮憲仁親王殿下が11月6日(土)に当放射線・情報科学科のC棟1階実習室を視察にいられました。視察の内容はMRI装置、乳房X線撮影装置、X線CT装置の3点でした。5分という短い視察でしたが、学科としては大変名譽なことでありました。

10月23・24日の風花祭の初日に並行して開催された教育後援会の学科別集会以て27名の保護者が参加され、国試と就職について熱心な討論がありました。3学年の臨地実習は前班が10月29日までの9週間の日程を終えて無事に帰ってきました。後班が11月1日から年末までの予定で出発しました。(野原功全)

医療経営管理学科

3年次病院実習終了する

医療経営管理学科では、夏休み期間中に1年次の見学実習と3年次の病院実習を無事終了することができました。特に3年実習では、日本ではじめての本学科の実習ということもあり、前例のない4週間の実習内容を各病院にお願いすることになりました。大田原赤十字病院をはじめ、全国の名立たる49病院が快くお引き受けくださり、また、熱心に指導してくださいました。これまでとは違った角度から患者さんに接することにより、学生は理論では得ることができない貴重な体験ができたようです。これもお引き受けいただいた病院の方々のお陰と教員一同大変感謝しています。(磯伸彦)

医療福祉学科

社会福祉士試験 合格に向けて 最初の一步

また3年目の医療福祉学科では、国家試験に合格するための第一歩として、11月7日(日)大学を会場として「社会福祉士統一模擬試験(第6回・日本社会福祉士会主催)」に参加しました。3年生は全員が、2年生は希望者が受験しました。ちらほらと国試受験が気になりはじめた学生、まだまだピンときていない学生とさまざまですが、本番と同じ問題数や試験時間で、みな真剣に解答していました。少しは、社会福祉士試験の感じが掴めたでしょうか。この「一歩」が出される頃には明らかになる成績はどんな結果になるでしょうか。自分の弱点を見つけて、国試本番までの期間、準備に励んでください。・・・そう、毎日の授業が受験勉強なのです!(本多勇)

語学教育センター

中国語を開講してまもなく5年になります。中国語を学習する生徒が逐年増えているのは中国語の教員にとつて何よりも嬉しいことです。

外国語を学ぶ目的は異文化とのコミュニケーションなので、中国語の授業は日常生活の身近な会話を中心とし、一つの単語、一つの表現を、「聞く」「話す」「読む」「書く」と同時に、言葉の背景にある中国の文化、諸事情などをなるべく学生の関心あるテーマに絞って講義を行っております。

これから中国語の世界の入口に入ろうとする皆さんを、心から歓迎します。また中国語の初級を一通り終えた皆さんがより一層、中国語への関心を強めていただければ幸いです。愿大家更上一层楼! Yuan da yi tiao geng shang yi ceng lou!(皆さんがより高いところを目指すことを願っております。)(テイタンイ・ダプス)

基礎医学研究センター

病院病理と臨床病理

「マロニ工会」の発足にさいし、多面的な活躍を期待します。医療に従事している同窓生、また臨床実習などに際して、病院内に病理科と臨床病理科のあることに戸惑った方も少なくないと思います。両者は全く異なった分野です。病理科は、生検材料による組織や細胞による確定診断・予後判定。病態究明のための病理解剖を担当する部門です。後者は、血液、尿などの生化学的検査を中心とする部門で、病院によっては臨床検査科などの名称を採用しているところもあります。機会があれば是非病理解剖の見学をお奨めします。(飯高和成)



新潟で全国大会頑張ってきました！

10月24日(日)に新潟で少林寺拳法全国大会が開催され、地区予選を突破した岡田(理学3年)・中村(福祉3年)が出場しました。3年連続出場し、今年こそ入賞を果たすぞ！と意気込んでみたのですが、一步及ばず僅差で予選敗退してしまいました。今年是不運にも大学祭と重なってしまい、23日のステージ発表後、車で6時間かけて新潟へ向かうというハードスケジュールでした。何より大学祭を半日しか楽しめなかったのが残念！...ま、新潟でうまいもん食べたしいかな？ (少林寺拳法部 理学3年 岡田恒教)

リレーエッセイ

「リトル・トリー」の素朴な教え

作業療法学科 福田恵美子

新聞を開くと、「介護保険」の文字が目にとびこみ、高齢少子化の波に世の中は動いています。巷では「子育て支援事業」が立ち上がり、高齢者のみならず子どもにも目が向けられている事が分かりますが、この渦の中で「何か欠けているものがあるのでは？」の疑問を抱いていた時に出会った「リトル・トリー」(フォレスト・カーター著)という本、この疑問を埋めてくれました。1930年代の経済恐慌下の一生活記録ではありますが、チェロキー族の祖父母の愛情の中で「インディアンの生き方」を学んでいく記録ですが、その中の祖母の言葉「おまえはとっても正しい事をしたんだよ。何かいいものを見つけた時、まずしなくちゃいけないのはね、それを誰でもいいから出会った人に分けてあげて一緒に喜ぶことなの。いいものはどこまでも広がっていく。それが正しい行いってものなんだ」でした。行政が弱者の介護や子育て等に力を注ぐ事、何か変な気がします。何かいいことをしたくなった時、心温まった時、誰かと分かち合いたいと気付かされました。

次回執筆者：黒澤和生先生(理学療法学科)

私が感銘を受けた本(第1回)

毎号、教職員あるいは学生に簡単な解説を書いていただき、この本を3冊購入して図書館の大谷学長著書の書棚(入って左)に置きます。投稿を希望する方は図書館に申し出て下さい。第1回は看護学科の藤原聡子先生です。是非ご愛読下さい。(飯沼一浩)

書名：浮生六記

著者：沈復、訳：松波茂夫、出版社：岩波文庫
紹介者：看護学科 藤原聡子



「浮生六記」は、中国清朝の読書人による自伝的エッセイである。同時代の小説「紅樓夢」が、思春期を生きる男女の心理とその成就せぬ性愛を、きわめてリアリスティックに描いた傑作であるならば、「浮生六記」は中年に達した夫婦の心理と情愛の機微をきめ細やかに描いた佳作である。どちらも中国の文学史上では希な「家庭内の些事と性」を扱った作品であり、それゆえにどちらの作者も世に韜晦して本当の名前を隠してしまった。

200年前のこの作品の虚心な語り口は、痛切きわまりない夫婦の転変を、そのタイトルにとられた李白の詞の如く一場の夢としてさらりと述懐している。現代に生きる私にもまっすぐに伝わる素直な語り口で、変わらぬ人情の深さに心打たれた。

編集後記

IUHW29号が出来上がりました。今年になってIUHWの紙面がずいぶん変わったと思いませんか？これは情報メディア室がデジタル加工で編集して下さるようになったからなのです。より見やすく、よりきれいになりました。レイアウトも変わり、縦書き、右開きです。皆さん、いかがでしょうか？

また、今号から学生の実習体験記の連載も始まりました。これから実習に行く予定の人も、もう終わった人も是非楽しんでお読みください。もちろん風花祭の特集も熟読してくださいね。(宮崎路子)

IUHW クイズ - 第17弾 -

賞品はなんと旅行ギフト券(8000円分)!

今回は食欲の秋にちなんで食べ物関連のクイズです。正解を記入して事務局窓口外側のメールボックスへ投入してください。正解者多数の場合は、抽選で1名の方に旅行ギフト券をプレゼント。応募資格は大学の学生で、1人1通、締め切りは12月24日です。難しそうに見えますが、5つの食品を辞書で引けばすぐ見つかりますよ。

- 問1 A: This new TV doesn't work at all.
B: It must be a () .
- 問2 A: Will you please help me do this?
B: Sure. It's a piece of () to me.
- 問3 A: I think that actor overacts and shows off.
B: Yeah, he is a () actor.
- 問4 A: I'm really mad about this problem.
B: I'm going (), too.
- 問5 A: He is the person who brings home the () .
B: Oh, I see.



キリトル

学科	学年
名前	
解答 1	4
2	5
3	

ア bananas イ cake ウ lemon エ bacon オ ham